



WEEKLY REPORT

No.1580

<本年度クラブ会長方針>

変革の第一歩を。
更なる魅力あるクラブへ、結束、共に行動を!

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 春日井和良 事務局 名古屋市中区栄4-7-10 栄第8ロイヤルビル6F
幹事 近藤明美 電話(052)251-0181 FAX(052)251-0337 〒460-0008
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org

奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

<2021-22年度 R.I.テーマ>
R.I.会長 シェカール・メータ

第1854回例会

ロータリー親睦活動月間
令和4年6月16日(木)
クラブフォーラム

出席計算数 会員54名
54名中 54名出席
出席率100%
前々回出席率100%

例会プログラム

★クラブフォーラム

ロータリーソング

「大須ロータリーソング」

(歌唱なし)

ニコボックス

クラブ戦略委員会の皆さん宜しくお願いします。

近藤 明美

川島 勇基・杉本 忠夫

田崎 雅三・大上 晃延

尾上さん卓話よろしくお願ひします。

仲林 宏昌

木村 吉伸・松井 健

尾上さん卓話楽しみです。

鬼頭 茂成・近藤宏一郎

本日のクラブフォーラム宜しくお願いします。

尾上 昇

加藤巳千彦・丹下 富博

クラブフォーラムをよろしく。

横井 衛

来年のメルボルン国際大会のホテルを予約しました。

吉田 隆彦

今日も勉強させて頂きます。

深谷 昭広

直例会長挨拶

大原 敏正



皆さんこんにちは。本日も会長代理挨拶をさせていただきます。

先週は歯科の病気にともろが溜まる「結石」がある事をお話ししました。「歯髄内結石」ですが、経験的に言えば、40歳以上の方の1割くらいは見られるものと思います。

今日はもう一つの「結石」が出来る病気についてお話しします。それは「唾石症」と言います。唾液、つばの作られる唾液腺の中で出来て大きくなる物や、そこからお口の中に排出される管の中に移動して詰まる物で、小さな砂粒からごはん粒の3個くらいの大きさまで大きくなります。

人が食事を摂る時には唾液が作られますので、唾液腺の中で移動したり、唾液腺からの管の中を移動して詰まったりするとかかなり痛みます。特徴は食事に関連して舌の下や頬の内側に痛みが出たり膨らんだりします。慣れないと診断に戸惑いますが、痛みが発生するタイミングと場所を特定できる

と簡単です。

しかし治療は結構大変です。大きな物は外科的に摘出するのですが、傷跡が萎縮して唾液の通りが悪くなりまた詰まり易くもなります。実はこの病気が起きる原因として考えられているのが、不規則な食事時間や早食いがあります。食事時間が決まっている人はその時間に合わせて、唾液や消化液が多く作られて分泌するのですが、不規則な人の場合は徐々に唾液の余剰在庫となります。唾液に含まれるカルシウムが唾液腺や管に沈殿して「唾石」を作ります。早食いも同じで唾液の余剰在庫となります。昔は「唾石」は結構珍しい病気でしたが、最近は普通に見られるようになりました。しかし特に驚きなのは30〜40年前からは子供にも見られるようになったことです。子供の「唾石症」は昔は学会報告されるくらいでした。

人間の体をバランス良く調整している力を「ホメオスタシス」「恒常性」と言いますが、ストレスが多い上に、24時間活動できる環境となった現代人は「ホメオスタシス」を維持できにくく、様々な新たな病気を作りやすくなっています。食事時間と睡眠時間を中心とした、生活活動時間のコントロールが病気を防ぐ基本だということを示唆していることが分かります。

「今日も一日
笑顔で過しましょう」

クラブフォーラム

アンケート中間報告

クラブ戦略委員長

尾上 昇さん

本日はクラブ戦略委員会担当のクラブフォーラムです。

先月末、配布しましたアンケートの中間報告をします。

と申しますのは、アンケートの回答が、たった15名でこれだけではクラブの総意という判断が不可能ですので集計結果やコメントは差し控え、設問回答の箇条書きに留めます。

本日出席の会員各位の中でアンケート未提出の方は、これらの設問回答を参考にいただき受付にアンケート用紙を提出してお帰り下さい。



クラブの良いところ

- ・奉仕活動に積極的である
- ・人格の高いメンバーが揃っている
- ・同好会の質が高い
- ・会員同士が良い
- ・例会が楽しい
- ・事務局が充実している
- ・会食中のピアノ生演奏が良い
- ・クラブに親しみやすい雰囲気
- ・各委員会活動が活発
- ・クラブ内に派閥がない
- ・例会の食事が美味しい
- ・社会奉仕、国際奉仕などバランスのとれた活動を行っている
- ・地区補助金を上手く活用して積極的な活動を行っている
- ・年齢に関係なく優しく接してくれる年配者が多い
- ・クラブのアットホームなところ
- ・会員のほとんどが近いところにいる
- ・入会しやすい雰囲気がある
- ・会員同士の仲間意識が高い
- ・オンライン例会など新しい取り組みが良い
- ・笑顔のすてきな方が多い
- ・歴史を大事に行事が運営されている
- ・会費が安い
- ・クラブの活動に時間と頭脳と努力をかけなくても運営できる
- ・費用対効果を考えなくてもいい
- ・このおもしろテーマもなし崩し的に終われる

クラブに欠けているところ

- ・会員数が少ない
- ・女性会員が少ない
- ・金融関係企業が入っていないのがさみしい
- ・新入会員(3年未満)へのフォローが足りない
- ・退会防止の作戦が乏しい
- ・クラブの目的が不明確に感じる
- ・会員増強が弱い。他クラブの研究をする
- ・ロータリークラブとは何かというコンセンサス(統一見解)が取れていない
- ・行事が多すぎる
- ・例会変更が多すぎる
- ・女性会員が少ない。積極的な入会促進を図る
- ・若い会員が少ない
- ・委員長などとする人がほぼ決まっている
- ・クラブ全体に会員減少に対する危機感が共有できていない
- ・会費以外の出費が多い。例えば入会時の2BOX
- ・ロータリー精神を失った団体である
- ・活動の資金が少ない。
- ・予算の見直しが必要
- ・企業活動と



クラブのアイデンティティ

- ・同好会活動をもっと積極的に
- ・(クラブの支援があると良い)
- ・時代に適応した柔軟な対応が独自性につながる
- ・予算が少ない中、行事を限定し、そこに予算を集中する
- ・行事の予定を早めに周知させ多くの会員に参加してもらう
- ・先ずは例会の内容が会員にとって学びの場でないといけない
- ・例会の見直しが必要
- ・これまでの伝統事業(青少年交換)など目玉となっている事業のプラス・マイナスを検証し検討する(2)
- ・奉仕の継続はロータリー哲学の論理が必要。その研究をする機会を持つ必要がある
- ・青少年交換活動を継続する
- ・格式張らない自由闊達で庶民的な包容力
- ・地域社会大須地域への奉仕活動を積極的にい行い地域密着型のRCCを目指す
- ・目指す方向は、ロータリーの原点職業奉仕の精神への回帰
- ・アイデンティティは文字通り大



須。大須という街を全面的に押し出す

大須地区には1,000軒の商店がある。奉仕の機会が一杯ある筈



6月30日(木) 例会の案内
定款規定により休会

7月7日(木) 例会の案内

次年度会長・幹事所見

次年度会長 加藤巳千彦さん

次年度幹事 吉田 憲一さん

7月14日(木) 例会の案内

次年度委員長所見

次年度クラブ奉仕委員会

委員長 松岡 毅さん

次年度職業奉仕委員会

委員長 田崎 雅三さん

次年度社会奉仕委員会

委員長 渡辺 観水さん

次年度会員組織委員会

委員長 杉本 忠夫さん

7月21日(木) 例会の案内

次年度委員長所見

次年度国際奉仕委員会

委員長 堀江 英弥さん

次年度青少年奉仕委員会

委員長 岡村 隆徳さん

次年度親睦委員会

委員長 仲林 宏昌さん

次年度クラブ戦略委員会

委員長 尾上 昇さん

公共イメージ向上委員会

川島 勇基・内藤 明

近藤宏一郎

*本文は、原則、頂いた原稿を転載しています。